

グループホーム うわばら

コロナ禍における感染予防には十分注意を払い、ホーム全体の理念「和我家」、さくらユニットの理念「しあわせづくり」、うめユニットの理念「十人十色」、それぞれの理念の実現を目指し、温かい日々の生活を共に過ごして行きます。

1. サービスの質の向上

- (1) 個人の尊厳を守り、一人の「人」として関わり、理念である「しあわせづくり」「十人十色」を念頭において行動します。
- (2) 認知症ケアの専門職としての基本的なケアや知識を身につける為、各種研修に参加し、サービスの質の確保と向上に努めます。特に身体拘束と合わせて虐待についての勉強会を行います。
- (3) 毎月ユニット会を開催し、職員の介護技術や介護に対する心構えを学んでいきます。また、入居者一人ひとりの変化に気付き、どう対応していくのかを職員で共有していきます。
- (4) コロナ禍における入居者のストレスを解消するため、職員が中心となり、室内における様々な取り組みを考案します。
- (5) より客観的な視点で第三者評価機関（外部評価）による介護サービスの質の評価を実施し、随時、見直しや改善を行っていきます。
- (6) ゆとりあるケアの為に人材確保、職員育成に努めます。職員同士の人間関係を育み、働きがいのある職場作りと定着率アップを目指していきます。

2. 生活環境の整備と安全・安心の暮らし

- (1) 高齢化・重度化に伴う栄養状態や食事形態を定期的に見直すことで、食事を安全・安心に摂ってもらえるように支援します。
- (2) コストの見直しを図り、無駄な経費を削減し、職員一人一人がその意識を持って取り組みます。
- (3) 日頃より協力医療機関や協力施設との連携や情報交換を行い、緊急時などスムーズな連携を図り、適切な介護・医療が受けられる体制を整備すると共に、職員の医療知識の向上を図ります。
- (4) 事故防止のため、ユニット会にて十分な検討や分析を行います。リスクマネジメント報告書の重要性を理解し、報告する機会を増やすことで、リスク回避に向けた取り組みを行います。
- (5) ホームでの看取り介護を希望された場合、本人の意志や家族の意向を尊重し、看取り介護計画に反映し、十分理解して頂けるよう努めます。また重度になられても安心して生活できるよう、設備や備品等ハード面を充実させていきます。

3. 家族及び地域住民との連携

- (1) コロナ禍において面会制限が継続する中、できる限り入居者の施設での生活ぶりを報告し、家族との繋がりを大事していきます。
- (2) 入居者のホームでの生活状況を日常的に発信することで家族との信頼関係を築き、気軽に立ち寄れるアットホームな環境を作りに努めます。
- (3) 入居者も地域住民の1人であることを認識して、地域住民として参加できる活動や行事への参加を促進していきます。
- (4) 当ホームは土砂災害警戒区域に立地する為、地域の住民として地区の避難訓練にもできる限り協力し参加していきます。